

2016年度  
公募制推薦入試(A)(全学部共通)

# 問題と解答

英語

数学

国語

- I 次の英文を読んで、後の(1)～(10)の空所①～⑩を埋めるのに最も適当なものを、それぞれ与えられた1～4より一つずつ選びなさい。

### The Empire State Building

No trip to New York City is complete without a visit to the Empire State Building in the center of the lower half of Manhattan Island. It has 103 floors topped by a tower, making it 443.2 meters tall. From when it was built in 1931 to 1970, it was the tallest building in the world. Now there are cities with taller buildings, but the Empire State Building still remains a favorite with tourists from all over the world.

A visit begins with buying a ticket on the first floor. On weekends and holidays, especially in the summer, there are certain to be long lines at the ticket counters from the late morning. So, it is best to be there early, at eight in the morning when the ticket counters open. From there visitors will take one of the building's 73 elevators to the 82nd floor and then another to the 102nd floor. There, high above the city, visitors can see all of New York City and up to 150 kilometers into its neighboring states on a clear day.

Being on the 102nd floor is like being on top of a mountain, except a mountain does not move and the Empire State building does. Visitors can feel the building move ever so gently in the wind, in a strange silence far above the noise of the city streets. Others may also enjoy the excitement of standing where a huge gorilla fought planes with one arm while holding a beautiful girl in the other in the movie *King Kong*. New York's Empire State Building is special. If you are in New York, don't miss it.

(1) Which half of Manhattan is the Empire State Building in? ( ① ).

- |                   |                    |
|-------------------|--------------------|
| 1. The upper half | 2. The higher half |
| 3. The lower half | 4. The center half |

(2) What is above its top floor? ( ② ).

- |                 |                 |
|-----------------|-----------------|
| 1. 443.2 meters | 2. A tower      |
| 3. 103 floors   | 4. A tall meter |



- II 次の会話文を読んで、空所①～⑤を埋めるのに最も適切なものを、それぞれ与えられた1～4より一つずつ選びなさい。

Jenny: Have you finished your book report, Shota?

Shota: Not yet. I just can't choose a book from the book list. Have you finished yours?

Jenny: Yes, ( ① ). I used *A Tale of Two Cities*.

Shota: I've never heard of it. ( ② )?

Jenny: It's a story about a woman and two men in France and England. It's a long, sad love story. I liked it, but you like true stories more, ( ③ )?

Shota: Right. I'm interested in history, so I looked for history books on the list at the library but ( ④ ).

Jenny: That's a shame. Can't you find another interesting book on the list?

Shota: Not really. Do you think I can use one of my books at home to write the report?

Jenny: ( ⑤ ), but you can ask the teacher.

Shota: OK, I'll try. Thanks, Jenny.

- ① 1. I haven't finished it                      2. the list has to be given  
3. you can lose the list                        4. I wrote it yesterday

- ② 1. How much is it                              2. What's it about  
3. Can you write it                                4. Where did you buy it

- ③ 1. do I    2. weren't you  
3. don't you                                        4. can I

- ④ 1. they were not on sale                      2. someone had already borrowed them  
3. everybody liked it                            4. you can borrow it if you like

- ⑤ 1. Probably not                                  2. No, it's possible  
3. I'm happy to be alone                        4. You can't be wrong

Ⅲ 次の英文(1)～(5)の空所⑩～⑳を埋めるのに最も適当なものを、それぞれ与えられた1～4より一つずつ選びなさい。

(1) I've been working on this problem for days and I can't find the solution yet.

I am so ( ⑩ ).

1. confuse            2. confusing            3. confused            4. confusion

(2) You're ( ⑪ ) friends now so you can be honest with us.

1. into            2. among            3. along            4. under

(3) There are ( ⑫ ) of cheese in the world, and they all differ in taste, and even appearance.

1. several hundreds kinds            2. hundred of kinds  
3. hundreds of kinds            4. hundreds of kind

(4) Many French Canadians ( ⑬ ) English well in addition to French.

1. be able to speak            2. is able to speak  
3. are able to speak            4. are able to speaks

(5) The joy ( ⑭ ) the study is that it provides necessary information to anyone who needs it.

1. of            2. which            3. that            4. because

[英語問題終了]

**数 学**

次の問いの答えを解答マーク欄の1から10にマークしなさい。ただし、分数は既約分数で表すものとする。

解答が0の場合は、解答マーク欄の10にマークしなさい。

**I (必答問題)** 次の問いに答えなさい。

(1)  $(2x + 1)(2x + 3)(2x - 1)(2x - 3)$  を展開すると

$$\boxed{\text{①}} \boxed{\text{②}} x^4 - \boxed{\text{③}} \boxed{\text{④}} x^2 + \boxed{\text{⑤}}$$

である。

(2) 不等式  $|5x - 1| > x + 3$  を満たす  $x$  の値の範囲は、 $x < -\frac{\boxed{\text{⑥}}}{\boxed{\text{⑦}}}$ ,  $\boxed{\text{⑧}} < x$  である。

(3)  $x$  は実数で、 $x > 6$  とする。△ABCにおいて、  
 $AB = x - 4$ ,  $AC = x - 6$ ,  $BC = 3$ ,  $\angle A = 60^\circ$   
 であるとき  $x = \boxed{\text{⑨}} + \sqrt{\boxed{\text{⑩}}}$  である。

**II (必答問題)** 小さい方から順に並んだ10個のデータ

$$1, 1, a - 2, a, b, b + 3, 8, c - 1, c, 12$$

の中央値が6.5、第1四分位数が2、平均値が6であるとき、次の問いに答えなさい。

(1)  $a, b, c$  の値はそれぞれ  $a = \boxed{\text{⑪}}$ ,  $b = \boxed{\text{⑫}}$ ,  $c = \boxed{\text{⑬}} \boxed{\text{⑭}}$  である。

(2) このデータの第3四分位数は  $\boxed{\text{⑮}}$  であり、四分位範囲は  $\boxed{\text{⑯}}$  である。

(3) このデータの分散は  $\boxed{\text{⑰}} \boxed{\text{⑱}}$  である。

**数 学**

Ⅲ, Ⅳ, Ⅴの中から2問を選択し、解答しなさい。  
 選択科目欄横の選択問題欄に、選択した問題番号を記入しなさい。

Ⅲ (選択問題) 袋の中に赤球5個, 白球4個, 青球3個の合わせて12個の球が入っている。  
 この袋の中から同時に球を取り出すとき, 次の問いに答えなさい。

(1) 3個の球を同時に取り出すとき, 取り出した球の色がすべて同じ色である確率は

⑲	
⑳	㉑

 である。

(2) 4個の球を同時に取り出すとき, 取り出した球が赤球1個, 白球2個, 青球1個である

確率は
 

㉒	
㉓	㉔

 である。

(3) 6個の球を同時に取り出すとき, 取り出した赤球の個数と白球の個数と青球の個数

が同じである確率は
 

㉕	㉖
㉗	㉘

 である。

Ⅳ (選択問題) 次の問いに答えなさい。

(1) 8316と6300の最大公約数は 

㉙
---

㉚
---

㉛
---

 である。

(2) 不定方程式  $11x + 6y = 3$  の整数解をすべて求めると,

$x =$ 

㉜
---

 $n -$ 

㉝
---

 $, y = -$ 

㉞
---

㉟
---

 $n +$ 

㊱
---

 $(n \text{ は整数})$   
 である。

(3) 5で割ると4余り, 6で割ると2余る2けたの整数のうち,

最大のものは 

㊲
---

㊳
---

 である。

V (選択問題)  $AB = AC = AD$ である四面体 $ABCD$ において、 $\triangle BCD$ を1辺の長さが6の正三角形とする。また、頂点 $A$ から $\triangle BCD$ に下ろした垂線と $\triangle BCD$ との交点を $H$ とする。四面体 $ABCD$ の体積が12であるとき、次の問いに答えなさい。

(1)  $\triangle BCD$ の面積は  $\boxed{39} \sqrt{\boxed{40}}$  である。

(2) 線分 $AH$ の長さは  $\frac{\boxed{41} \sqrt{\boxed{42}}}{\boxed{43}}$  である。

(3) 辺 $AB$ の長さは  $\frac{\boxed{44} \sqrt{\boxed{45} \boxed{46}}}{\boxed{47}}$  である。

〔数学問題終了〕

次の文章を読んで、後の問い(問1～9)に答えなさい。

もうまるで疑う余地のないことのようにして、「個性化、個性化」といい、「多様化、多様化」という。「差異化」「個性化」「多様化」と並べてみれば、およそどういうイメージを思い浮かべているか、察しはつく。

たぶん、その背後には、人間が千人いれば千の顔があり、万人いれば万の顔があるように、千の「個性化」があり、万の「個性化」がある、という心やさしい①があるのだろう。そして、千人、万人が自由に振る舞えば必ずや千、万の「多様化」を示すという自由についての楽天的な期待がある。そしてまた、その仕上げとして、その結果の「個性化」と「多様化」は価値の②で評価すべきことではなく、単に「差異化」を確認すればいいことであるという「相対主義」がある。

こう考えれば、無限の「差異化」、無限の「個性化」、無限の「多様化」が可能だし、それが人間の「自由」の証しだということになる。

このような理論的ワク組みは正しいのかどうか、ということをも、ちょっと検討してみたい。

短い文章だから、先を急がねばならない。まず形式論理学上は正しいだろう。単純だが単純なりに整合している。③、

「価値」論、「意味」論がすっぽり抜けていることを確認しておかなければならない。そう確認しようとすると、微妙な問題が生じる。「個性化」というときの「個性」に、プラスの意味と価値をしのび込ませている気配がのうこウだからである。同じように「多様化」という言葉にもほどのよさが楽観的に前提されている。二つ合わせて、「アナキーの危機」はまるでよカンして④いない。そこに、中学生並みの⑤といたところがある。もう一つ嫌味を付け加えれば、何をどうしようとタカは知れているといわんばかりのホモジニアス日本社会への、無自覚的なもたれかかりがある。

論理学もさりながら、消費経済ないしは消費行動、その結果としての消費文化を考えようとしたら、どうしても人間という厄介なものを引き受けようと心に決めねばならない。その当の人間は、単純な形式論理学よりも複雑で不透明で、ときに矛盾律に

満ちているようだ。そういう人間を語るには、自分がいま生きている経験的言語を大事にし、それを正直に見つめることが大切だろう。

Ⅰ 二つの問いはワンセットのはずで、片方の質問だけで調査をしたのでは、不公平である。

Ⅱ たとえば、「あなたは買い物をするとき、『差異化』と『個性化』をどの程度意識しますか」と自問することから始めた。

Ⅲ すなわち「あなたは買い物をするとき、『スタンダード』と『オーソドックス』をどの程度意識しますか」という設問である。

Ⅳ 同時に次のような質問を用意しておかないと不公平になる。

「差異化」への欲求を聞き取りたいのなら、「同一性」への欲求も聞いてみなくてはならない。「個性」への欲求を聞き取りたいのなら、「普遍性」への欲求も聞いてみなくてはならない。「差異化」と「同一性」、「個性」と「普遍性」は一对、表裏、陰陽のようなもので分ちがたい観念だからである。

そもそも、「差異性」を認識するためには「同一性」がなければならず、「個性」を認識するためには「普遍性」がなければならぬ。逆に「同一性」を認識するためには「差異性」が不可欠だし、「普遍性」を認識するためには「個性」が不可欠なのである。そうした一对の観念を、さまざまなレベルで想定しなければ、消費行動も語れなければ人間も語れないし、文化も語れない。それは現実というものも語れないだろう。それに空間軸と時間軸も同時に想定しておかなければならない。

⑩ スタンダードな商品はどのようにして形成されたのか、オーソドックスな商品は何故に確立されたのか、という問いである。そう問うことによって、たちまち時間軸が浮び上がってくる。歴史が運んできたもの、時間に勝ち抜いてきたもの。

⑪ 芸術家はじゅんじョウだから、アバンギャルドを宣言したらその道をひた走るが、消費者は気ままだからあれもこれもというだろう。芸術家や思想家の中にも生活人はすんでいるから、その部分は消費者と同じで気ままである。

さて、その気ままな生活人としての消費者の好みを想定すると「無限の多様性」をイメージしたくなるものだが、本当になのだろうか。

「多品種少量生産」ということがしきりに言われている。マーケットたちも盛んに言う。この「多品種」という言葉の背後には、人間の好みは自由におけば「無限に多様化」するという観念がある。

Ⓐ そのもう一つ奥に、人間は自由にしておけば「無限に差異化」していくという観念がある。そうでなければ理論的におかしい、というわけである。

Ⓑ この論理は、逆にいうと、「多様化」と「差異化」を阻むものがあるとしたら、それは自由を抑圧するところの「拘束」があるからだ、というⒸ を前提にしている。左翼(注)ラジカリストの理論とよく似た発想である。

私のような二元論者は、原理的にいってもそういう「自由」と「無限の多様化」は成立しないと思っている。ましてや現実を生きている生活人としての消費者において、そんな理論が成立するはずはないと思っている。原理的にはひとまずおくとして、生活者としての消費者は、歴史という伝統が築いたさまざまな「美的な財物」をキョウじゅじしたいと願っている、ということを前提にしたほうがいい。彼らは個性信仰にとり憑かれた芸術家ではない。

結論を急がねばならない。仮に完全な自由を前提にしても、人間は必ず「拡散と収斂しゅうれん」をくり返しながら、自分のスタイルを発見していくだろう。個性信仰に憑かれた芸術家がキソ④のすべてのスタイルに反抗逆したとしても、彼が自分のスタイルを発見したとき気がつくことは、そのスタイルが歴史上のある系譜につながっていることだろう。

そして、一つの文化圏が天才たちによって用意しているスタイルの系譜というものは、思いのほか少ないのである。別の言い方をすれば「スタイルの収斂力」というものはこのほか強いということである。そこにスタンダードとかオーソドックスが形成される。

「拡散」だけをイメージして、「収斂」をイメージできない人が多すぎる。元来、マーケティングというものは、その時代のスタンダードやオーソドックスを見つめながら、適度の差異を⑤あんにばあんにばを按配することではなかったのか。そういう人までが、ラジカリス

トのように無限の多様化があるが如くに思い込んでいるようである。多様化論という錯覚のツケは決して小さくない、と私は思っている。

(井尻千男「消費文化の幻想」による)

(注1) ホモジニアス……同質的であるさま。

(注2) アバンギャルド……前衛的、革新的な芸術活動を行っている人々。

(注3) ラジカリスト……急進主義者、過激派。

問1

太線部㊦㊧の言葉のカタカナで表記された部分に使用する漢字を、次の各群の1～5のうちから、それぞれ一つずつ選  
びなさい。

㊦  
キョウジユ  
④

5 4 3 2 1  
鏡 享 共 教 協

㊧  
ノウコウ  
①

5 4 3 2 1  
好 黄 公 高 厚

㊨  
キソン  
⑤

5 4 3 2 1  
記 機 来 既 貴

㊩  
ヨカン  
②

5 4 3 2 1  
感 官 環 観 完

㊪  
ジュンジョウ  
③

5 4 3 2 1  
常 場 情 状 上

問2

傍線部⑤と⑥はそれぞれ本文中でどのような意味で用いられているか。最も適当なものを、次の各群の1～5のうちから、それぞれ一つずつ選びなさい。

⑤ 察しはつく

- 1 教えを説くことができる
- 2 おもいやることができる
- 3 なしとげることができる
- 4 おしはかることができる
- 5 見つけ出すことができる

⑥ 按配する

- 1 整える
- 2 比べる
- 3 同じにする
- 4 取り替える
- 5 置き換える

問3

空欄①～③に入れるのに最も適当なものを、次の各群の1～5のうちから、それぞれ一つずつ選びなさい。

空欄①

- 1 ニヒリズム
- 2 ヒロイズム
- 3 ナルシシズム
- 4 マンネリズム
- 5 ヒューマニズム

空欄②

- 1 システム
- 2 ミステリー
- 3 バラエティー
- 4 ヒエラルキー
- 5 デモクラシー

空欄③

- 1 道徳観念
- 2 抽象観念
- 3 固定観念
- 4 相対観念
- 5 衛生観念

問 4 空欄①～③に入れるのに最も適当なものを、次の各群の1～5のうちから、それぞれ一つずつ選びなさい。

空欄① ⑪	空欄② ⑫	空欄③ ⑬
5 4 3 2 1 または やはり たぶん もしも ただし	5 4 3 2 1 つまり しかし だから むろん 例えば	5 4 3 2 1 ところが あるいは もしくは そして ゆえに

問 5 波線部④「アナーキーの危機」とあるが、それはどういう意味か。その説明として最も適当なものを、次の1～5のうちから一つ選びなさい。 ⑭

- 1 無限の個性化と多様化が、人間の自由の証しにならない危険性がある。
- 2 個性化と多様化の生み出す価値を低く考える日本の社会の傾向は危うい。
- 3 自由な個性化と多様化を許そうとしないので、日本の社会は危機的である。
- 4 千人、万人が自由に振る舞っても、千、万の多様化は起こらない心配がある。
- 5 個性化や多様化を放置しておく価値に混乱が生じ無秩序になる危険性がある。

問6

波線部⑧「この論理」とあるが、それはどういう意味か。その説明として最も適当なものを、次の1～5のうちから一つ選びなさい。

⑮

- 1 芸術家や思想家に比べると、消費者は気ままに振る舞うということ。
- 2 マーケットの分析によれば、多品種で少量の生産が最良ということ。
- 3 人間の好みは自由にしておけば、無限に多様化し差異化すること。
- 4 消費者の気ままを想定すると、無限の多様化が良い商品を生み出すということ。
- 5 消費者の好みを想定すると、オーソドックスな商品が選ばれやすいということ。

問7

波線部⑨「多様化論という錯覚のツケ」とあるが、それはどういう意味か。その説明として最も適当なものを、次の1～5のうちから一つ選びなさい。

⑯

- 1 自由が抑圧されると、消費者の好みの多様化、差異化、個性化が阻まれるにちがいないということ。
- 2 どれほど多様化と差異化を放置しても、個性的なスタイルは生まれてこないにちがいないということ。
- 3 多様化の価値を信じるアバンギャルドな芸術家は、すべてのスタイルに反抗するにちがいないということ。
- 4 多様化は思ったよりうまく収斂せず、そんな無理による報いが必ずやってくるにちがいないということ。
- 5 芸術家の好みが多様化しても、いずれ収斂されオーソドックスな商品が定着するにちがいないということ。

## 問8

本文中のⅠ～Ⅳの各文を文脈に合致するよう正しく並び替えたとき、三番目に来る文として最も適当なものを、次の1～4のうちから一つ選びなさい。⑰

- 1 Ⅰ 二つの問いはワンセットのほずで、片方の質問だけで調査をしたのでは、不公平である。
- 2 Ⅱ たとえば、「あなたは買い物をするとき、『差異化』と『個性化』をどの程度意識しますか」と自問することから始めたい。
- 3 Ⅲ すなわち「あなたは買い物をするとき、『スタンダード』と『オーソドックス』をどの程度意識しますか」という設問である。
- 4 Ⅳ 同時に次のような質問を用意しておかないと不公平になる。

問9

本文の内容として正しくないものを、次の1～5のうちから一つ選びなさい。

⑬

- 1 歴史という伝統の流れにおいて、スタンダードな商品が確立される。
- 2 多様化と個性化をもたらしてくれる自由について楽観的に捉えるべきだ。
- 3 差異性と同一性、個性と普遍性は一对の観念であり、相互に依存的である。
- 4 人間の行動は複雑で矛盾律に満ちており、形式論理学では十分に説明できない。
- 5 スタイルの拡散と収斂をくり返しながらか、オーソドックスな商品が形成されていく。

〔国語問題終了〕

# 2016年度 公募(A) 解答

## 英語

- I      ①-3   ②-2   ③-4   ④-1   ⑤-4
- ⑥-2   ⑦-4   ⑧-1   ⑨-2   ⑩-4
- II      ⑪-4   ⑫-2   ⑬-3   ⑭-2   ⑮-1
- III     ⑯-3   ⑰-2   ⑱-3   ⑲-3   ⑳-1

## 数学

- I      ①-1   ②-6   ③-4   ④-10   ⑤-9
- ⑥-1   ⑦-3   ⑧-1   ⑨-5   ⑩-6
- II      ⑪-4   ⑫-5   ⑬-1   ⑭-10   ⑮-9
- ⑯-7   ⑰-1   ⑱-4
- III     ⑲-3   ⑳-4   ㉑-4   ㉒-2   ㉓-1
- ㉔-1   ㉕-1   ㉖-5   ㉗-7   ㉘-7
- IV     ㉙-2   ㉚-5   ㉛-2   ㉜-6   ㉝-3
- ㉞-1   ㉟-1   ㊱-6   ㊲-7   ㊳-4
- V      ㊴-9   ㊵-3   ㊶-4   ㊷-3   ㊸-3
- ㊹-2   ㊺-3   ㊻-9   ㊼-3

問 9	問 8	問 7	問 6	問 5	問 4	問 3	問 2	問 1
⑱	⑰	⑯	⑮	⑭	⑪	⑧	⑥	①
2	3	4	3	5	1	5	4	1
					⑫	⑨	⑦	②
					5	4	1	5
					⑬	⑩		③
					2	3		3
								④
								4
								⑤
								2

## 国語